

ご存じですか？地域おこし協力隊

市では、国の地域おこし協力隊制度を活用し、平成二十七年年度から遠野・三和・田人・川前地区に隊員を配置してきました。今後、隊員と協力し、中山間地域の振興や地域資源の磨き上げを行っていきます。

地域おこし協力隊

地域おこし協力隊は、人口減少や過疎化が進む地域に、首都圏をはじめとする都市部からの人材を行政が積極的に受け入れ、地域協



三和地区のまんじゅう作り

力活動を行いながら、その地域への定住・定着を図る取り組みです。

任命された隊員は、任命先の地域に居住し、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR活動や、住民の生活支援を行います。

主な活動内容

本市を盛り上げるため、各地区で隊員が地域の皆さんと関わり、協力しながら活動しています。

○三和地区

いわき伝統野菜のむすめきたかを活用した六次産業化に取り組んできました。

○田人地区

古民家を再生させたコミュニティハウス「HITOTABII」の運営などを行っています。

○川前地区

菜種油・しみ餅などの地元産品のPR支援や地ビール作りに取り組んでいます。

遠野地区に新たに3人の隊員を配置

4月1日から遠野地区に、新たに地域おこし協力隊を配置しました。任命された3人は、伝統和紙「遠野和紙」の製作技術の継承に取り組むとともに、それぞれの個性や特徴を生かし、地域の活性化に向けた活動を行っていきます。



①自分の卒業証書を紙すき ②遠野和紙を使った卒業証書 ③左から、高嶋祥太さん、小林祐子さん、平子めぐみさん

小林祐子さん

デザインや美術に関わる仕事をしてきた経験を生かして、遠野和紙を使った誰もが手に取りたくなる工芸品を作り、観光地としての魅力もPRしていきたいです！

高嶋祥太さん

書道家として活動する中で、素材の大切さを感じるようになりました。書道の用具の1つである半紙としての活用方法を探究し、遠野和紙の普及へつなげていきます！

平子めぐみさん

入遠野町出身です。遠野和紙の技術を学びながら、もっと遠野地区に来てもらえるよう、若い世代の人たちと地域の方をつないでいく活動を行っていきます！

※地域おこし協力隊の紹介記事については、広報いわき令和元年12月号、令和2年8月号・11月号、令和3年4月号をご覧ください。

絵はがきの 中の 「いわき」



観光地、名所・旧跡が豊富な平地区

平地区は丘陵地や河川に囲まれています。

丘陵地には、飯野八幡宮や物見ヶ岡稲荷神社、子楯倉神社、丹後沢、高麗橋、磐城中学校、磐城高等女学校、平商業学校などが設置されました。これらはいずれも、人々の信仰や憩いの場であるいは教育の場であり、絵はがきの



「サンシャインいわき」の絵はがき袋になった塩屋埼灯台【昭和63（1988）年頃いわき市観光協会発行】

明治時代に誕生した絵はがきは、新聞と並んで、重要な情報伝達媒体として使用されてきました。絵はがきに残る当時の風景などを通して、市内十三地区の歴史や文化をひもときます。

題材となりました。松ヶ岡公園ではツツジやサクラ、安藤信正公の銅像、ひょうたん池などが、絵はがきにおさめられています。

夏井川では鎌田橋や平神橋、新川では尼子橋や桜並木（現在の新川緑地）が、絵はがきの題材となっています。郊外では甲塚古墳や關ヶ井嶽薬師、専称寺などの名所・旧跡のほか、海岸部では合磯・二見ヶ浦や豊間海水浴場、豊間漁港、結核療養所の「回春園」（後の翠ヶ丘療養所）の絵はがきが、見る人をいざなっています。

塩屋埼灯台は建設された明治三十二（一八九九）年以降に、絵はがきとして取り上げられました。また、昭和十四（一九三九）年に国の天然記念物に指定され、賢沼ウナギ生息地を有する沼ノ内弁財天も、格好の絵はがきのテーマとなりました。

平町や四倉町の業者が発行した組み絵はがきの中には、横川や新舞子の風景が描かれた絵はがきを何種類も見ることが出来ます。（いわき地域学會 小宅幸一）

令和2年度消防庁長官表彰

次の7人の方々が、永年勤続功労章を受章しました。同章は、消防業務に長年従事し、その成績が優秀で、他の模範と認められる消防団員などに贈られるものです。

＝年齢は3月1日現在。支団（所属、階級）順・敬称略＝

- ▷白土泰雄(77)＝第1支団副分団長 平
- ▷森山千秋(68)＝第1支団団員 平下荒川
- ▷佐藤誠(65)＝第1支団団員 中之作
- ▷坂本憲治(67)＝第2支団団員 小名浜
- ▷山下勝正(65)＝第5支団分団長 内郷小島町
- ▷仲絵宏一(64)＝第5支団団員 内郷内町
- ▷野木進一(62)＝第5支団団員 内郷御厩町



※「こんにちは市長室から」は、当面の間、休止します。

副業人材活用に関する連携協定を締結

市は、3月18日に、株式会社みらいワークスおよびいわき商工会議所、ひまわり信用金庫、いわき信用組合と同協定を締結しました。

同協定に基づき、相互に協働・連携して、積極的に首都圏の副業人材の活用を進め、

地域企業の生産性向上や高付加価値化を図り、経営課題の解決や地域産業の振興につなげていきます。



中小企業などと副業人材のマッチングを推進するため協定を締結

お問い合わせ
地域振興課
中山間・沿岸地域係
☎22・7415